

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
・県内自治体が共同で開発・導入する施設予約システムは、現状では町施設の運用システムとは異なるため導入が難しい。

(8)改善実績（過去3年間の実績）
・事務に対するシステム導入が円滑にすすむよう、各施設に対して企画課が説明会や技術支援を行った。

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3 点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3 点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3 点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3 点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3 点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3 点
		平均 3.0点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 （該当番号に○印）	<ol style="list-style-type: none"> 1．前年度と同じく、そのまま継続する。 2．見直して継続（業務の拡大） 3．見直して継続（業務の縮小） ④ 見直して継続（方法の改善） 5．見直して継続（他業務と統合） 6．廃止する。 7．休止する。
評価理由	「あいち電子自治体推進協議会」における事業である、電子申請・届出システムや施設予約システムにより、電子自治体化を効果的かつ効率的に進めることができている。ただ、施設予約システムは、町施設の運用システムにはなじまない部分もあるので、予約システムの改善を協議会に求めていく。併せて、協議会などの事業に参加するかは、町全体の電子自治体化政策の中で検討し、精査していく必要がある。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
引き続き、協議会事業に参加し、電子自治体化を進めていく。ただし、施設予約システムをはじめ各事業において、本町の運用において使いにくい面があることから、本町に最適なシステムの構築・導入・運用ができるよう協議会への働きかけを積極的に行い、電子自治体化を一層推進できるようにする。